

みんなで楽しく

キャンプファイア



福島県いわき海浜自然の家

キャンプファイアについて

1 キャンプファイアの役割分担と準備



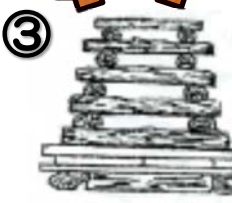

(1) 役割分担

- ① 点火の合図や、心に残る話をする営火長（ファイアチーフ）
- ② 司会・進行（エールマスター）
- ③ ゲームや歌などを指導するアトラクションリーダー
- ④ 火の勢いの調節をしたりする営火係（ファイアキーパー）
- ⑤ 薪を組んだり、翌朝、営火場の灰などを片付けをする準備・後始末係

(2) 準備物（自然の家で用意できます）

- ① 薪・・・キャンプファイア薪（太薪）4束、ボンファイア薪（焚きつけ用）1束
- ② トーチ棒・・・火の神や火の守の分
- ③ 衣装・・・火の神や火の守の分
- ④ その他・・・消火用バケツ、灯油、（少々）、新聞紙、チャッカマン
音響（アンプ、ラジカセ）

薪の組み方

		1 太くて安定感のある薪を土台として選び五角形に5本置く
		2 残りの薪を、薪が崩れないように、なるべく平行に置けるものを組にして置くのがコツ
		3 ボンファイア薪を組んだ薪の中に入れて完成。点火用に新聞紙を薪の間から4方向より出して置く。また、トーチ棒に浸した灯油の残りを、組んだ薪にかけて置く

2 キャンプファイアの演出

(1) 演出における基本的なことから

- 参加者・・・参加者全員が主役。全員が行動できるプログラム。
- テーマ・・・ねらいに応じたファイアの検討を。
- リズム・・・山を作る。人間は感動するリズムを持っている。
- 時間・・・長すぎない。1時間前後で余韻を残す。

(2) キャンプファイアの流れ

- 起（導入）・・・参加者を引きつける。点火の儀式。静かに始めることが多い。
- 承（展開）・・・歌やゲーム、スタンプなど変化に富んでいて動的。
- 転（テーマにせまる）・・・クライマックス。参加者の気持ちをひとつにする。
- 結（フィナーレ）・・・余韻を残し、静かに終わる。

3 キャンプファイアの配慮点

- (1) 雨天の場合を考えておきましょう。(キャンドルファイアの準備等)
- (2) 後片付けや就寝までの時間なども考えて全体の時間や内容を設定しましょう。
※ 1時間程度で終了する内容を考えてみましょう。
- (3) 水の入ったバケツを用意して、キャンプファイア終了後に消化を行い、火が消えたことをしっかり確かめましょう。(消火終了後、野外活動センターのインターホンで自然の家事務室へ連絡をしてください)
※ 連絡を受けた所員が、消防署へキャンプファイア終了の報告をします。

4 火の話の例

(1) 人間と火にまつわる史話

大昔から生息してきた数多くの生き物の中から、人間のみが今日の文明を築きえた原因のひとつとして、人間のみが火を活用し生活に取り入れることを会得したということがあげられます。火によって、多くの獣から身を守ったり、暗闇に明かりをともしたり、寒さから暖をとったり、食物に火を加えて食べたり、あるいは火を囲んで語り合う場をもったり・・・と、自ら火をおこし生活の中に積極的に取り入れ、少しずつ人間らしい生活を築いていったといえます。

このように人間生活にとって意味のある火を囲んでのキャンプファイアやキャンドルファイアのつどいは、大昔から人間が火を囲んで語り合い、儀式を持ち、つどい合ってきた人類の遺産のひとつといえるかもしれません。

(2) 火の4つの教え

①『世に光を』

火は私たちに明るさを与えてくれます。暗闇から足もとを照らし進むべき道を示してくれます。つどいでは仲間の顔や姿を照らし出してくれます。このように火は私たちに、社会に一つの明るさをともす人になれ、世に光をなげかける人になれ、と教えてくれます。

②『世にあたたかさを』

火は寒さから私たちの身を守り、暖を与えてくれます。時には貴重な人命を大自然から守ってくれることもあります。また暖のおかげで私たちは、心のゆとり、あたたかさを取り戻すことができます。このように火は私たちの周りにあたたかさを投げかけよ、あたたかい思いやりのある人であれ、人を愛することの貴さ等を示唆しています。

③『友情の輪を』

一つの炎では暗く、そして弱いものです。少しの風、外圧によってさえも消えてしまいます。しかしその弱い炎でも、数多くの炎が集まって互いに協力し合えば、より明るく、より強く、よりあたたかいものになります。このように火は私たちに、仲間の大切さ・友情の大切さ・手を取り合い、力を合わせることの大切さを示しています。

④『奉仕の心を』

火は自らの身を焼き尽くしながら、周りを明るくし、あたたかくします。時には自らを

犠牲にしても、周りのことや社会のことを考えて取り組むことが必要であることを教えてくれます。またそのことは自らを生かすことでもあると示唆してくれています。

5 キャンプファイアのプログラム例

◇第1部◇	火を迎える儀（10分）
（ 集合 ）	営火場にサークル状に集まる。
司会	「今日一日、私たちの活動を見守り、明るく照らしてくれた太陽は、さきほど西の彼方へ沈んでいきました。その情景を思い浮かべながら、今日一日の活動を振り返ってみましょう。・・・さて、今度は太陽に変わって私たちを見守り、明るく照らしてくれる、この集いのための営火を迎えましょう。」
（入場）	（B. G. M. 歌など による営火入場）
	火の巫女（1名）を先頭に、火の神（1名）、火の守（4名）が入場する。火の巫女だけトーチ棒に火をつけて両手をかざし、ゆっくりと歩き雰囲気を作り出す。組んだ薪の周りを一周し、営火場の北側に火の巫女・火の神・火の守の順番に並び。
司会	「今、火の巫女・火の神・火の守によって運ばれてきた小さな火がこの集いの輪にほのかな明るさを与えてくれたことと思います。火は遠い昔から私たちにとって、とても大切なものだと言われてきました。では、ここで火の神様からお言葉をいただきましょう。」
火の巫女	（火の神の表情がよく見えるようにトーチを傾げる。）
火の神	「〇〇〇。」（※厳粛な雰囲気の中で火についての話などをする。）
司会	「では、分火の儀式に移ります。」
火の神	「ここに集う、みなのものに神聖な火を与える。」
火の巫女	（火の神にトーチ棒を手渡す。）
火の守	（火の神の言葉のあと、4人とも火の神の前へ移動）
火の神	「汝に『協力の火』を与える。」
火の守	「みんなで協力して、楽しい集いにすることを誓います。」 （東の点火口へ移動）
火の神	「汝に『友情の火』を与える。」
火の守	「友情を大切にし、助け合っていくことを誓います。」 （南の点火口へ移動）
火の神	「汝に『努力の火』を与える。」

火の守	「目標に向かって精一杯頑張ることを誓います。」 (西の点火口へ移動)
火の神 火の守	「汝に『健康の火』を与える。」 「強い心としょうぶな体を作ることを誓います。」 (北の点火口へ移動)
司会	(トーチを持って、北の点火口へ移動) (点火の際はその場でみつめる) 「では、神様より点火の合図をいただきます。」
火の神 ファイアキーパー	「この偉大なる火を、みんなの心の中にもしましましょう。点火！」 ※ トーチ棒から燃えている芯を取り外して組んだ薪の中へ入れる (火がともったら、営火場北側へ戻る)
司会	「今、みなさんの集いの火がともりました。楽しいキャンプファイアになるように『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう。」 (火の守らの紹介後の退場でもよい)

◇第二部◇	交流の儀(40分)
アトラクションリーダー 営火係	「これから歌やゲームで楽しい時間をすごしましょう。」 ○ 簡単なゲーム ※ 交流の儀の進み方につれて火を小さくしていく

◇第三部◇	火を送る儀(10分)
司会	「楽しかったゲームも終わりです。もとのサークルに戻りましょう。 ・・・みんなで囲んだ火、あれほど燃えさかった明るく大きな火がこんなに小さくなりました。間もなく消える時を迎えることでしょうか。しかし、この自然の家での様々な活動の思い出や仲間たちとの語らいは決して消えることはないでしょう。この素晴らしい思い出を、みなさんの心のアルバムに刻むために、しばらくの間じっくりと炎を見つめてください。」
司会	「みなさんにとって今日一日はどんな日でしたか。」 (※今日一日の楽しかった出来事や良かったことを振り返ったり、明日への意欲付けを図ったりする。)
司会	○児童・生徒による感想発表、全員の歌、残り火を分火して送る 等 「みなさんの協力で、滞りなくキャンプファイアを進めることができました。ありがとうございました。今日いただいた4つの火を忘れることなく、これからも頑張っていきましょう。これでキャンプファイアを終了します。」

レクリエーションゲームの紹介（例）

<p>じゃんけんゲーム</p>	<p>① リーダーじゃんけん リーダー対全員でじゃんけんし、勝った人だけ再度じゃんけんができる。最後まで勝った人がチャンピオン。</p> <p>② 向きかえじゃんけん リーダー対全員でじゃんけんし勝った人が体の向きを変える。 正面→右向き→後ろ向き→左向き→正面など勝つごとに向きを変え、早く一回転した人が勝ち。</p>
<p>インパルス</p>	<p>メンバー全員でサークルになり手をつなぐ。最初の人を決め、その人が右隣の人の手を握る。握られた人は、さらに右隣の人の手を握る。これを繰り返し最初の人まで合図を戻すゲーム。最初の人に戻るまでの時間を縮める達成感を味わったり、全員に合図がおくられたことの一体感を味わったりする。</p>
<p>落ちた落ちた</p>	<p>リーダーの「おーちた、おちた」の声かけに、メンバーが一斉に「なーにがおちた」と答える。次にリーダーは「まんじゅう」「かみなり」「りんご」「お金」のうち一つを素早く指示する。メンバーは決められた動作を素早く行う。</p> <p>「まんじゅう」・・・天井を向き、口を大きくあける 「かみなり」・・・両手でへそを隠す 「りんご」・・・両手を前に差し出す 「お金」・・・かがんで物を拾う動作</p>
<p>キャッチ</p>	<p>メンバー全員でサークルになり内側を向く。全員左手で筒をつくり、右手は人差し指を右隣のメンバーの左手の筒の中に入れる。</p> <p>リーダーが「キャ、キャ・・・キャッチ！」と言ったら左手の筒を締めて隣の人の人差し指をキャッチする。また、自分の人差し指はキャッチされないように抜く。</p> <p>※ リーダーは「キャ」のつく言葉を時々伝えエラーを誘う。 例：キャベツ、キャッチャー など</p>
<p>オオカミとリス</p>	<p>3人組をつくり、リス1人、木を2人決める。木の役になった人は両手をつないで中にリスを入れる。誰か1人（余っている人）が呼びかけ役となる。呼びかけ役が「きたぞー、きたぞー、〇〇〇がきたぞー」</p> <p>「オオカミ」・・・リス役が動く（別な木の所へ移動ししゃがむ） 「木こり」・・・木役が動く（別なリスがいる場所へ移動しリスを囲む） 「嵐」・・・全員が動く（全員動いて新たな3人組を作る）</p> <p>移動の時に自分が残ってしまわないようにする組み分け的游戏。</p>
<p>せーの</p>	<p>リーダーの声かけ「せーの」の後にメンバーは拍手を1回する。さらにリーダーは「せーの」と声かけ、メンバーは拍手を2回する・・・徐々に回数を増やしていく。リーダーは頃合いをみて「あつまれー」と叫ぶ。メンバーは拍手した回数的人数で集まる。</p>

キャンプファイア・ボンファイアの準備と後始末について

～薪受けの内容～

1. 薪の受け取りについて

- ◇午後4：30に野外活動センターで行います。
- ◇キャンプファイア用灯油・衣装・トーチ棒の芯は活動センターで渡します。
- ◇薪は薪置き場に用意します。
- ◇トーチ棒や片付けの道具などは、係の説明に従って所定の場所から必要な数を持ち出してください。



2. トーチ棒の作り方について

- ◇トーチ棒は、あらかじめ芯に灯油を染みこませ、トーチ棒の先に差し込んで使用してください。その際、火ばさみを上手に使い、灯油が手や衣服などにつかないように注意してください。

3. 場所について

- ◇キャンプファイアは割り当てられた営火場で行います。
- ◇ボンファイアは営火場・多目的広場で行います。

4. 消火の仕方について

- ◇午後8：30までに完全に消火してください。 ※バケツで10杯程度の水をかけてください。
- ◇トーチ棒の芯は、点火後トーチ棒から外して組んだ薪の中に入れて燃やします。棒本体は燃やさないように注意してください。所定の場所に戻してください。
- ◇消火が終わったら、活動センターのインターホンで本館事務室に団体名告げ、連絡してください。団体からの報告を受け、消防署へ所員が連絡します。

5. 後始末について

- ◇翌日の朝の7：30頃までに、活動センター脇のペール缶に灰を捨ててください。道具として活動センター脇の一輪車・スコップ・ほうきなどを使ってください。
- ◇針金は、各炊飯場出入口の「針金かけ」にかけてください。

6. 雨天時について

- ◇薪を束ねている針金を取り外すと料金が発生します。雨天時案に変更の際は注意してください。

